

世界に開く 岩手の農林水産業



農林水産分野における4つの重点事項等に係る取組事例集

■取組事例集の作成

- ・「世界に開く 岩手の農林水産業」に繋がる取組や成果をパネル展示しています。
- ・パネルは、農林水産分野における「自然減・社会減対策」、「GXの推進」、「DXの推進」及び「安全・安心な地域づくり」の4つの重点事項のほか、「東日本大震災津波の伝承・発信」や「収益アップ」に係る取組事例集を若手職員が作成しました。



パネルを作成した若手職員

■取組事例（14事例）

取組事例	市町村	取組事例	市町村
【農業】経営体育成基盤整備事業 武道地区	盛岡市	【農業】草地畜産基盤整備事業 いわて北部地区	久慈市・洋野町
【農業】経営体育成基盤整備事業 小瀬川地区	花巻市	【水産業】水産流通基盤整備事業 太田名部漁港	普代村
【林業】林道整備事業 赤沢線	一関市	【農業】多面的機能支払交付金	県内全域
【林業】林地荒廃防止事業 上平田地区	釜石市	【農業】いきいき農村基盤整備事業	県内全域
【水産業】漁村再生交付金事業	大槌町	【農業】メタバースを活用した就農相談会	県内全域
【農業】海岸環境整備事業 浦の浜地区	山田町	【林業】いわて林業アカデミー	県内全域
【林業】林道整備事業 平波沢線	田野畑村	【水産業】いわて水産アカデミー	沿岸12市町村

【農業】経営体育成基盤整備事業 武道地区（盛岡市）

～基盤整備と農地中間管理事業の連携による法人への集積～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

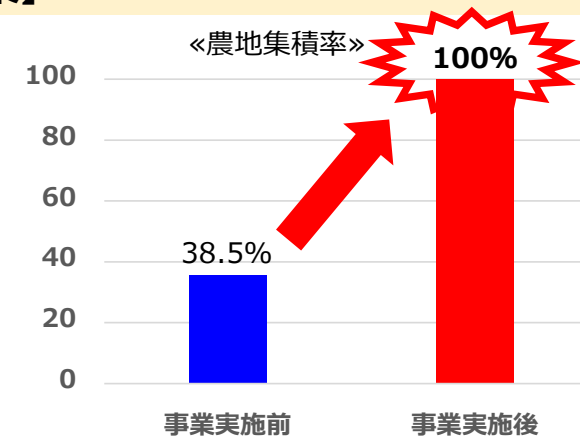
収益
向上

【取組のポイント】

- 整備前の水田は**10～30a区画**で、狭い農道でした。
また、排水が悪く**湿田状態**となっており、大型機械の導入は進んでいませんでした。
- このことから、**経営体育成基盤整備事業**により、**水田の区画整理、道路や水路の整備、排水の改良**を行い、地域の担い手となる**農事組合法人**に**農地集積**が図られました。

【取組の効果】

- 水田の大部分が**50a区画**になり、農地中間管理事業を活用し、農事組合法人に、**地区全ての農地を集積**しました。
- **特別栽培米**や**県オリジナル品種「銀河のしずく」**、転作作物として**大豆や飼料用米**などが作付けされました。
- 排水対策を実施した農地で、大豆などの**転作作物の高品質化**が図られました。



【整備前】

【整備後】

【整備後のその先】

- 地域の担い手により、効率的な営農が行われています。



- **自動操舵システム付の田植え機**を導入するなど、営農の更なる効率化が図られています。



【農業】経営体育成基盤整備事業 小瀬川地区（花巻市）

～水稻の低コスト生産による収益の向上と若手従業員の雇用～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

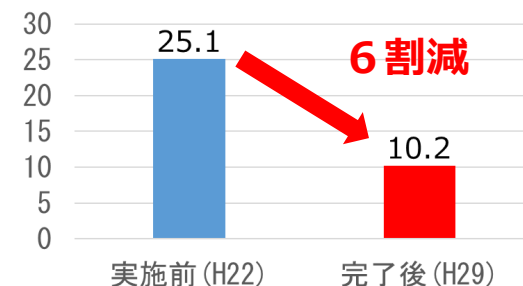
【取組のポイント】

- 水田の区画拡大、用水路のパイプライン化に伴い、大型機械導入や水管理の省力化が図られ、**生産コストが大幅削減**されました。
- 事業を契機に**有限会社鍋割川ユニオン**が**集積・集約化**を図ったことに加え、**隣接経営体と農地利用権を変更（交換）**し、一層効率的な作業体制を確立されました。
- 有限会社鍋割川ユニオンは、持続可能な農業経営を見据え、**若い従業員を積極的に雇用し、人材育成にも注力**しています。

【取組の効果】

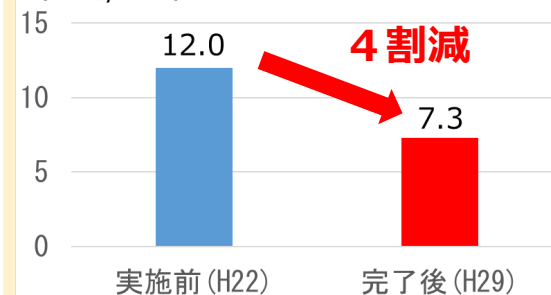
【ほ場整備前後の労働時間】

(時間/10a)



【ほ場整備前後の米の生産費】

(万円/10a)



【整備前】



【整備後】

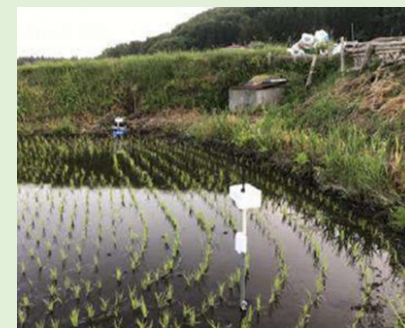


【整備後のその先】

- 収量・食味センサー付きコンバインや水位センサー等の**スマート農業**を積極的に導入し、**水稻の収量・品質の向上及び省力化**を図っています。



収量・食味センサー付きコンバイン



水位センサー

- 岩手県オリジナル水稻品種「**銀河のしずく**」・小麦・大豆の他、花巻市の振興作物である**雑穀（ヒエ）**の栽培に取り組んでいます。



水稻収穫の様子



銀河のしずくロゴマーク



地域振興作物のヒエ



【林業】林道整備事業 赤沢線（一関市）

～森林資源の循環利用を目指した林道整備～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

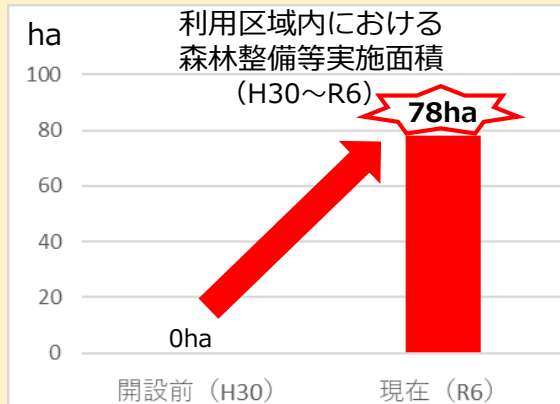
収益
向上

【取組のポイント】

- 当該林道を利用する区域（291ha）においては、森林整備を必要とする人工林が多く、**地元の森林・林業関係者から、林道整備の要望がありました。**
- このことから、平成30年度から林道開設を行っており、令和11年度に全線が開通する予定です。
- 当該林道は、既に約3.6kmが供用開始されており、伐採・植栽等の森林整備約78haに利用されています。

【取組の効果】

- 林道の整備により、間伐や主伐後の再造林等の森林整備が可能となり、**持続的な森林経営を通じた森林の有する多面的機能の発揮が期待されています。**



【整備前】



林道の開設方向



【整備後】



【整備後のその先】

森林整備（植える）



伐採（収穫）



木材の搬出（利用）



【林業】 林地荒廃防止事業 上平田地区（釜石市）

～山地災害から人とくらしを守る～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

- 令和元年10月に発生した台風第19号により、**県営住宅へ土砂が流出する被害が発生**しました。
- このことから、**荒廃した溪流内に堆積した不安定土砂が下流の県営住宅に流れ出すのを防止するため、治山事業により治山ダム・流路の整備を実施したところ**です。

【取組の効果】

- 治山ダム工の整備により、**不安定土砂の流出防止**が図られました。
- 流路工の整備により、水の流れが安定し**県営住宅への土砂流出の防止**が図られました。

事業内容

- ・ 治山ダム工 1基
- ・ 流路工 1式
- ・ 山腹工 1式



【水産業】 漁村再生交付金事業（大槌町）

も ば
～ハード・ソフト対策の連携による藻場再生の取組～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

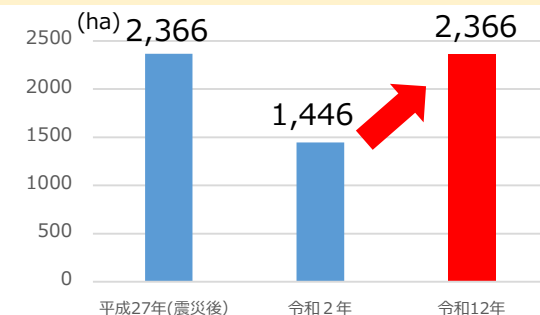
- 近年の海洋環境変化により本県沿岸域の藻場（海藻が多く繁っている場所）が衰退し、餌の減少によりアワビ等の漁獲量が減少しています。
- アワビ等の漁獲量を回復するため、コンブ等の藻場の再生を行っています。



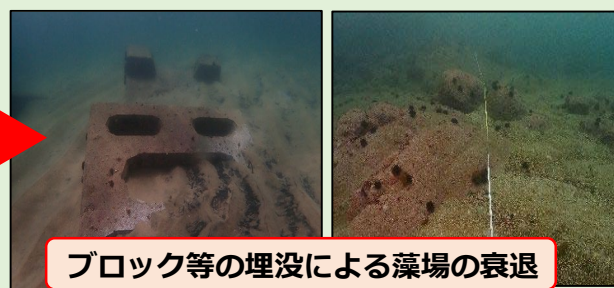
【取組の目標】

- ブロックの設置によるハード対策とウニ除去等のソフト対策を行うことで藻場の再生を図ります。
- 藻場の面積を令和12年までに平成27年と同程度（約2,300ha）まで回復させることを目標としています。

<岩手県沖の藻場面積>



【整備前】

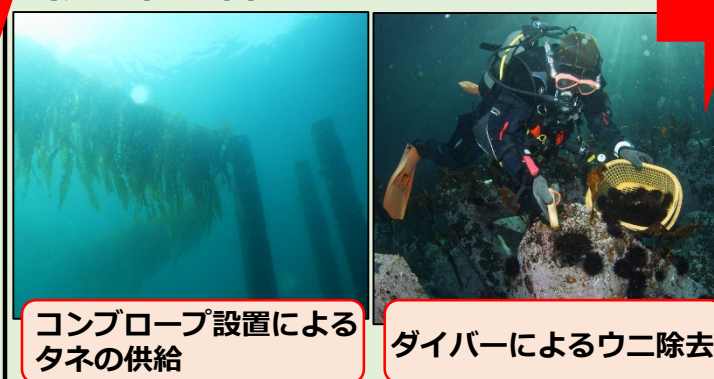


【整備後】

（ハード対策）

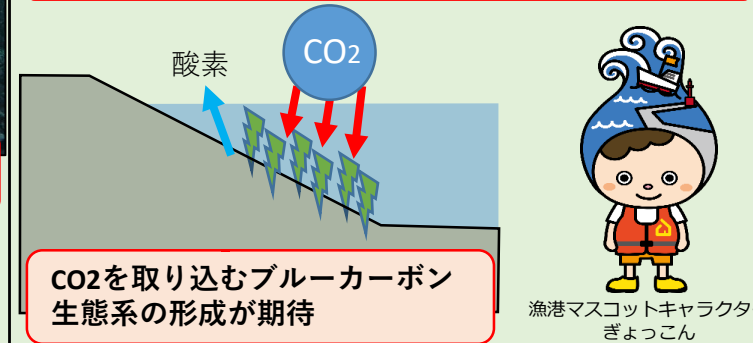
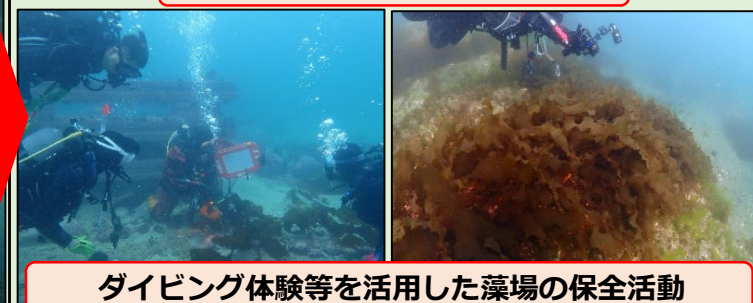


（ソフト対策）



- ハードとソフトが一体となった対策により、藻場の拡大が期待されます。

【整備後のその先】



漁港マスコットキャラクター
ぎょっこん

【農業】 海岸環境整備事業 浦の浜地区（山田町）

～東日本大震災津波からの多様な復旧・復興～

自然減
社会減

GX

DX

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

- 東日本大震災津波により、約270mに渡って砂浜が流出しました。
- 管理棟も全壊、約60cmの地盤沈下しました。
- 約7,800m³（新幹線の車両約75両分）の砂を運び込み砂浜を復旧しました。

【取組の効果】

- 砂浜の有する消波機能により波浪を弱める効果を期待されます。
- 各種イベントの開催、「海と鯨の科学館」等近隣 施設との相乗効果で地域のにぎわいを創出しました。



【被災後】



砂浜、スロープ等が流出



【復旧後】



砂浜、スロープ等の復旧



【復旧後のその先】



企業によるビーチクリーン活動



やまだパドルフェス

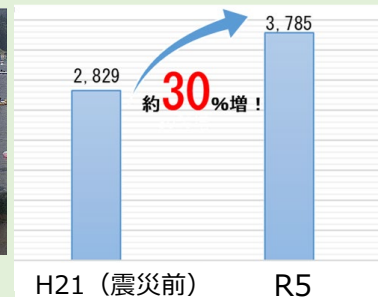


海の運動会

浦の浜海水浴場来訪者数（人）



海水浴客でにぎわう



【林業】林道整備事業 平波沢線（田野畑村）

～地域の防災力強化を目指した林道整備～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

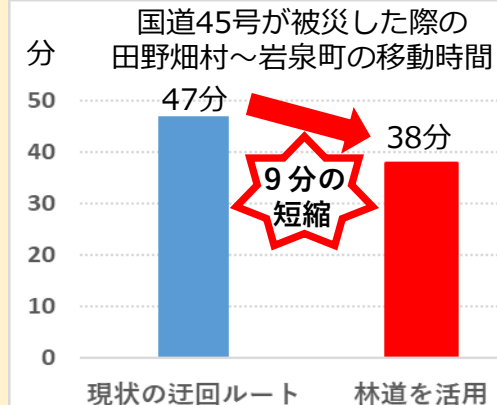
収益
向上

【取組のポイント】

- 当該林道を利用する区域（288ha）においては、森林整備を必要とする人工林が多く、**地元の森林・林業関係者から、林道整備の要望がありました。**
- このことから、平成22年度から林道開設を行っており、令和11年度に全線が開通する予定です。
- また、当該林道は、国道と村道に接続しており、**国道や村道が被災した際は、緊急時の代替路としての役割も期待されています。**

【取組の効果】

- 林道の整備により、間伐や主伐後の造林等の森林整備が可能となり、**持続的な森林経営を通じた森林の有する多面的機能の発揮が期待されています。**
- 緊急時の代替路として、**地域の防災力の強化が期待されます。**



至 普代村

林道の整備状況



起点 国道45号

田野畑村役場

国道や村道が
被災した際の
代替路

道の駅
たのはた

終点 村道鉄山線

地理院地図（国土地理院）を加工して作成

【整備後のその先】

森林整備、木材搬出への活用



緊急時の代替路としての活用



至 岩泉町

【農業】草地畜産基盤整備事業 いわて北部地区（久慈市・洋野町）

～飼料生産基盤の強化による生産性・収益性の向上～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

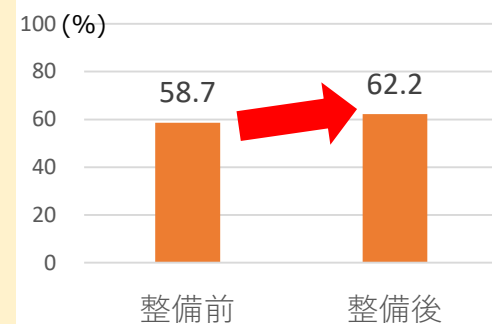
【取組のポイント】

- 当地域では、**酪農**や**肉用牛生産**が地域の重要な産業として位置づけられています。
- 当地域は、中山間地域のためまとまった面積の確保が難しく、**作業効率が悪い圃場が多いこと**や、**経営規模の拡大等により生産者の所得向上を図るため、生産性の高い牧草地や牛舎の整備**が必要となっています。
- このことから、地域の担い手や公共牧場において、**草地等の造成・整備及び牛舎等の施設整備**を行いました。

【取組の効果】

- 草地等の造成・整備によって飼料生産基盤が強化され、飼料自給率が**約3.5ポイント増加**しました。
- これにより、**購入飼料費の低減**が図られ、**収益性の改善**が期待されます。

飼料自給率



【整備前】



雑草と低木が生えた土地に…



牧場の一部に…

【整備後】



新たに牧草地を造成！



乳牛の預託施設を整備！

【整備後のその先】

- 大型機械での効率的な作業が可能になりました。



- 新たに整備された牛舎では、地域の酪農家の牛を預かって管理しており、経営規模拡大に貢献しています。



【水産業】水産流通基盤整備事業 太田名部漁港（普代村）

～産地魚市場の強化に向けた施設整備～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

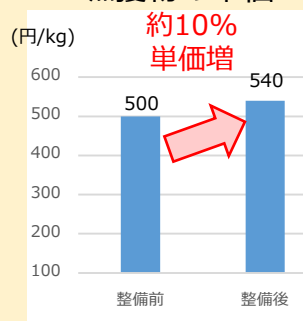
【取組のポイント】

- 食の安全・安心に対する消費者の関心が高まる中、衛生管理強化と水産物の水揚げから出荷まで一貫した流通経路の確保が必要となっています。
- 周辺漁場で漁獲された水産物を集約するため、流通拠点として効率的な作業環境が必要となっています。

【取組の効果】

- 高度衛生管理に対応した魚市場の整備により、**漁獲物の単価増**が期待されます。
- 臨港道路・駐車場の整備により、積込・運搬の作業時間短縮が図られ**水産物出荷コストの低下**が期待されます。

<漁獲物の単価>



<運搬作業時間>



【整備前】



【整備後】



【整備後のその先】



【農業】多面的機能支払交付金（県内全域）

～地域資源の保全管理のための共同活動を支援～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

- 農業は、国土の保全、水源のかん養※1、自然環境の保全、良好な景観の形成等の**多面的機能**を持っています。
- しかし、近年の**農村地域の過疎化、高齢化**等により、地域の共同活動が行われないことで、農業の**多面的機能が十分に働かないことが懸念**されています。
- そこで、本交付金により、農業の**多面的機能の維持・発揮を図るために地域の共同活動を支援**します。

※1：農業用水が農地へ浸透し、地下水源となる機能

岩手県内の約半分の農地で、
本交付金による活動を実施!!



【対象となる活動】

- **地域での話し合い**により計画や目標を定めて活動を実施します。活動は、大きく3つの種類に分かれています。

①農地維持支払

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上
- ・地域住民との意見交換、ワークショップ など

②資源向上支払（共同）

- ・水路や農道等の軽微な補修
- ・花壇の植栽、ビオトープづくり等の環境保全活動
- ・鳥獣被害防止対策 など

③資源向上支払（長寿命化）

- ・水路や農道等の補修・更新による長寿命化



【紫波町水分上地区環境保全活動組織の活動事例】

- 本交付金を活用して、農地341.6ha、水路120.8km、農道52.0kmの保全管理に取り組んでいます。

①定期的な農道・水路の草刈りや水路の泥上げ



農家以外の方も
草刈りに参加!!

②花壇植栽による地域の景観形成活動



地域の婦人会
とも連携!!

③小学校と連携した水生生物調査や田植え・稲刈り体験



農村文化の伝承や
世代間交流の機会創出!!

④田んぼダム※2の取組

※2：大雨時に一時的に田んぼに水を貯めて、ゆっくり排水することにより、水路や河川のピーク流量を低減する取組



防災機能の強化!!

【農業】いきいき農村基盤整備事業（県内全域）

～地域の実情に応じたきめ細かな簡易基盤整備の実施～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

- 事業エリアが小さいなどの理由で、**国庫補助事業の対象外**となってしまう地区から、**基盤整備**の実施を希望する声が多く寄せられています。
- そうした地区を対象に、本事業で、**地域の実情**に応じた**きめ細かな基盤整備**の実施を支援しています。

【取組の成果】

- 事業期間である5年間（R2～R6）で、**延べ235地区の整備**を実施しました。
- こうした整備を通じ、**農作業の効率化**や**農作物の品質・収量の向上**が図られ、**耕作放棄防止**や**営農の継続**に寄与しました。

【整備内容：R2～R7】

- ・区画整理48.3ha
- ・暗渠排水60ha
- ・湧水処理20.7km等

【整備前】

【区画拡大】3枚のほ場を1枚に区画拡大（0.9ha）（陸前高田市）

【整備後】



【石礫除去】石礫の除去で、そばの収量が改善（西和賀町）



【暗渠排水】暗渠排水を整備し、走行性や作業効率が向上（九戸村）



【今後の展望】

- 事業を実施した団体より事業継続要望が多数あり、**事業期間を令和11年度まで延長**しました。
- 事業期間の延長に合わせて、農作業の自動化や省力化が可能な**スマート農業の導入支援**等を事業メニューに追加しました。
- 今後も本事業の活用について様々な関係団体へPRを行い、地域の実情に合わせ、**本事業による生産性向上や営農継続への寄与**を図っていきます。

スマート農業導入支援（活用イメージ）



農業用ドローンの導入（農薬散布）



水位センサーの設置



自動草刈り機の導入

いきいき農村基盤整備事業のご紹介

突然ですが！
水田や畑についてお困りことはないですか？

例えばこんなこと..

- 田んぼが小さくて作業しにくいからもう少し広くしたいなあ..
- 田がぬかるんで機械で作業が出来ない！水はけをよくしたいなあ
- 石も多い..耕作放棄地を何とかしたい..
- 土水路の泥上げが大変！もっと管理しやすいかな
- ドローンで肥料を散布できれば省力化できているなあ..
- 人力での草刈りが大変。自動草刈り機を使ってみたいなあ
- スマート農業って気になるなあ..

農地を使いやすくしたい！それにスマート農業に興味はあるけど、どうしたら..

お任せください！

県では、農作業の効率化・省力化に向けた農地の改良やスマート農業導入への助成を行っています。

○1地区の事業費が200万円未満かつ耕作地2ha以上

○事業主体：市町村、土地改良区、農業法人、多目的活動協賛会等

○事業申請の当年もしくは翌年施工を基本としているもの

★助成対象工種＊（定額・定率区分別）
例：田んぼ、区画拡大、暗渠排水、石礫除去、湧水処理、農業用排水施設更新
スマート農業導入支援など多様な工種が対象となっています！

取組事例は裏面へ⇒

事業周知チラシの配付

【農業】メタバース（インターネット上の仮想空間）を活用した就農相談会（県内全域）

～仮想空間でつながる、匿名×自由な次世代型相談会～

自然減
社会減

GX

DX

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

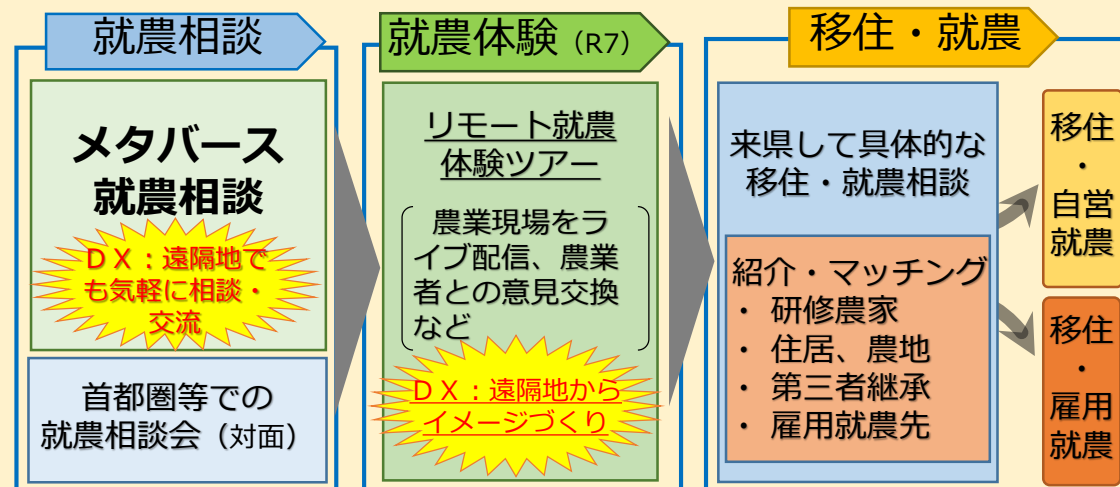
- 本県の農業従事者数は高齢化等により減少しており、次代の農業を担う新規就農者の確保・育成が急務となっています。
- そこで、新規就農者の確保に向け、全国の就農希望者を対象として、**メタバース空間**（インターネット上の仮想空間）を活用した**就農相談会**を開催しました。

【メタバースのメリット】

- 県外からの移動にかかる時間やコストをかけずに相談が可能です。
- **アバター利用の匿名性**・参加者相互の交流が可能です。
- 相談ブースを自由に回りながら複数人が同時に会話できます。
など

【取組の目標】

- 県外からの新規就農者の増加



【新規就農セミナー】

- 新規就農者による事例発表を行うとともに、**就農希望者同士による交流**が行われました。



【個別就農相談会】

- 個別相談ブースによる就農相談を実施しました。



【今後の取組】

- リモート就農体験ツアーへの誘導を行います。
- 継続的な就農相談や情報提供を行い、**就農(移住)へ誘導**します。



【林業】いわて林業アカデミー（県内全域）

～将来の岩手県の林業を担う現場技術者を養成～

自然減
社会減

GX

DX

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

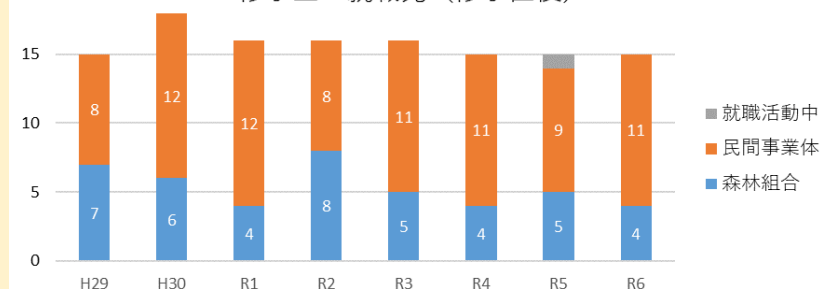
- 将来的に林業経営体の中核となる現場技術者を養成する研修で、県が平成29年度に開講しました。
- 定員：15人 研修期間：1年間 受講料：年額118,800円
- 林業分野に就業するうえで必要な9種類の資格を取得できます。
- 林業の専門的な知識・技術を有する県内林業団体10団体と民間企業11社からなる「サポートチーム」が研修講師の派遣や就業体験の受入れなどを支援します。
- 研修生が安心して研修に専念できるよう、「緑の青年就業準備給付金」を支給します。（1人当たり月額最高12.9万円、支給期間最大11か月）



【取組の効果】

- 1期生（H29年度入講生）～8期生（R6年度入講生）までの8カ年で126名が修了しました。
- 126名のうち125名が森林組合や民間事業体に就職し、岩手県の林業の現場で活躍しています（就職率99%）。

修了生の就職先（修了直後）



【研修の内容】

研修時間の
8割が実習
→林業の現場で
即戦力となる人材
を養成！



【座学】林業労働安全について



【実習】チェーンソーの操作方法



【実習】高性能林業機械の操作

【修了生の活躍】



事業体を超えて、
県内全域に同じ志を持つ仲間ができます！



修了後

岩手の山を森アゲろ！

求ム！精鋭15名
いわて林業アカデミー

令和7年度 研修生募集

応募資格 | 令和6年4月2日現在に生まれた人、高等学校の卒業生等
定 員 | 15名 | 研修期間 | 1年間(1,000時間程度)
学 費 | 年額118,800円(研修期間中) ※県費負担制度あり
岩手県林業技術センター
TEL 019-697-1320 FAX 019-697-1310
〒990-0001 岩手県盛岡市大町1-1-1
研修生募集係(2F) 受付

【令和7年度研修生募集ポスター】

【水産】いわて水産アカデミー（沿岸12市町村）

～漁師になるための最初の一步を後押し～

自然減
社会減

G X

D X

安全
安心

震災
伝承

収益
向上

【取組のポイント】

- **漁業者を確保・育成**するための**研修制度**です。
定員：10名 研修期間：1年間 受講料：1名あたり年額118,800円
- 漁業就業に必要な船舶免許等の**資格が取得可能**です。
- 希望する漁業に応じた**指導漁業者とのマッチング**を行います。
- 安心して研修できる、**各種補助事業が活用**できます。

周年型の研修カリキュラム

実践研修（4月～翌年3月）

- ・ 漁業現場における指導漁業者によるOJT型研修
- ・ 住民や地元漁業者との交流

集合研修Ⅰ（4月、5月）

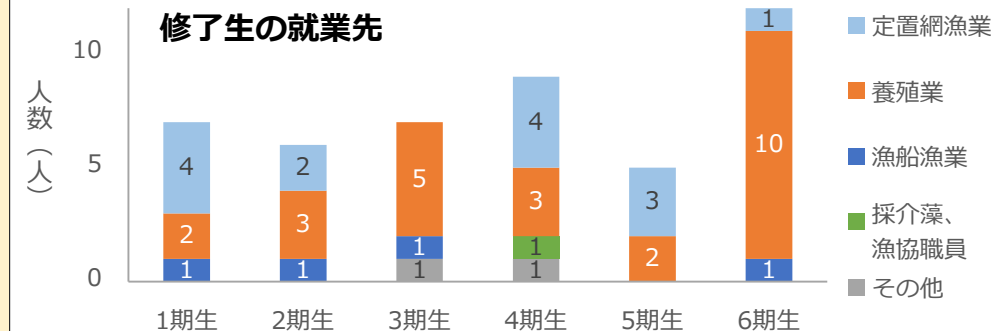
- ・ 基礎的な知識及び技術の習得（関係法令、ロープワーク等）
- ・ 修了生との交流

集合研修Ⅱ（7月、9月、10月、翌年1月、2月）

- ・ 高度な知識及び技術の習得（ICT、6次産業化、漁業経営等）
- ・ 現場実習（定置網漁業、養殖業、さけ・ますふ化場等）
- ・ 免許・資格の取得（二級小型船舶操縦士、第二級会場特殊無線技士等）

【取組の効果】

- 1期生（R元年度入講生）から6期生（R6年度入講生）までの6か年で**46名**が修了しています。
- このうち、**44名**の方が県内で漁業に従事しています（**定着率95.7%**）。



【研修の内容】



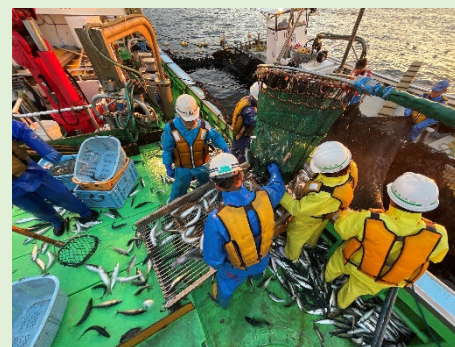
【集合研修】講義（座学）



【実践研修】定置網漁業
カキ養殖作業



漁家出身だけでなく
U・Iターンなど
漁業未経験の方も
研修しています！



【集合研修Ⅱ】定置網漁業実習



【集合研修Ⅰ】ロープワーク

【修了生の声】



- ・ アカデミーの研修で、定置網やロープの呼び名など、たくさんのことを覚えました。ロープワークは**実践でも役立っています**。
- ・ 漁業についてまっさらな状態でアカデミーに入ったので、学ぶことが多かったです。**将来は、岩手沿岸の漁業の未来を支えたいです**。
- ・ 以前より、できることが増えました。大変だとは思っていません。**まだまだ頑張ります**。